



村松分校だより



村松分校は「いじめ」
を絶対に許しません!
「いじめ」を絶対に見
逃しません!

新潟県立五泉特別支援学校村松分校 学校便り
第2号 令和5年12月22日発行
〒959-1704 新潟県五泉市村松甲 5545
Tel:0250-47-3100 Fax:0250-58-2200
✉ : school@muramatsu-tk.nein.ed.jp

「安心・安全な学校環境づくりに向けて」

教頭 朝妻 裕祐

当校は、昨年度4月の開校以来2度目の冬を迎えています。冬本番はこれからですが、充実した教育活動を推進していきたいと思えます。

さて、今年は9月から11月にかけて、クマの目撃情報が多発しました。学校から数キロ圏内に出没することも珍しくなく、警戒を緩めることはできませんでした。この状況は、11月下旬頃、クマが冬眠期間に入ったことから、ようやく落ち着きを見たところ です。

学校におきましては、次のような対策を行ってきました。

- 毎朝、クマ鈴を鳴らしながら校舎周辺を巡視しました。
- 夕方、拡声器で音を発生させながら学校周辺を巡視しました。(村松高校職員による)
- 校舎外で行う体育などの活動を、10月から12月までの間、校舎内で行うこととしました。(朝のファイトタイム等)
- 全校朝会等で安全指導を行いました。生徒は、主に本州に生息するツキノワグマについて、今年のどんぐりの不作による生息域の変化、クマに出会ったときの対応について学習しました。
- 徒歩等で登下校する生徒へ学校のクマ鈴を貸し出しました。
- 安心安全メールによる情報配信を行いました。9月は第4報、10月は第18報、11月は第31報、合計53報を配信しました。
- 学校では、クマの他にもサルやイノシシが出没することがあります。その都度、村松高校と連絡を取り合いながら対応しました。



来年4月に入るとクマの冬眠明けが待っています。目覚めたばかりのクマは、食べ物を求めて活発に活動するようになります。県や市町村からの通知・情報を受け、村松高校と連携しながら適切に対応し、今後も安心・安全な学校環境づくりに努めてまいります。

授業の「窓」

生徒のきらめく活動の様子をご紹介します。



1学年部の「窓」

10月20日、五泉の農家さんで里芋掘りをする計画をしていましたが、天候不良のために中止となり、かわりに里芋を使った調理を1年生全員で行いました。里芋をゆでてつぶし、片栗粉と混ぜ合わせ、だんごに丸めて焼くと、里芋だんごの完成。グループで分担をしながら、手際よく調理を進めることができました。五泉市はおいしい食材が豊富です。調理実習の経験を生活でも生かしていけるといいですね。(文責：山田)

2学年部の「窓」

11月1日から2日に掛けて、1泊2日の修学旅行に行ってきました。寺泊水族館では、グループごとに展示を見学し、ながおか花火館では長岡花火を特大の映像で楽しみました。宿泊先のホテルベルナティオでは、2日間で3種類の体験活動を楽しむことができました。コロナ禍では経験できなかった円卓での食事や、温泉大浴場や部屋での語りも大変いい思い出になりました。

(文責：荒木)



3学年部の「窓」

職場実習では、自分の目標を設定し、5日間の実習に精一杯取り組みました。「集中して仕事に取り組むことができた」「メモを取って間違えずに仕事できた」「自分から質問できた」「公共交通機関を使って通勤できた」など、生徒の頑張りが成果となって少しずつ現れています。数ヶ月後には、学校生活を終え、社会人としてそれぞれ違った道を歩む13人です。自分自身を見つめ直し、自立を目指して変わろうとする生徒を応援していきます。

(文責：清水)



サービス班

きらめき祭特集

「みんな笑顔のきらめきカフェ」

今年度は、「笑顔」をテーマに接客練習を重ねてきたサービス班。お客様にとって居心地のよいカフェにするため、技術を高め合ってきました。当日は、たくさんの方から「心も体も温まりました」「ステキな接客でした」との感想を頂くことができました。振り返り活動では、お客様の感想を通じて生徒がより一層やりがいや達成感を感じ、来年度への意欲を高めることができました。温かいお声がけありがとうございました。（文責：三星）



マット班

「今年度の売り上げ枚数、目標達成！！」

毎年、マット班は『作業販売で100枚売り上げる』を目標に頑張っていました。「どうするとお客様から買ってもらえるか」「喜んでもらえるような色（柄）は？」それぞれが買っていただく方を想像しながら制作に望んだ結果・・・今年なんと！！その目標を達成することができました！！枚数にして107枚、過去最高の数でした。売り上げ結果の報告を聞き、マット班全員で喜びを分かち合いました。マットをお買い上げいただきました皆様、ありがとうございました。（文責：田村）



農耕・木工班

「アイデア・設計から」

今回の農耕・木工班では今までの製品もありましたが、生徒たちがアイデアを出し、設計から考えて完成させた製品が多く販売されました。「こんな製品がほしい」というアイデアを実際に製品にするため、道具面、金銭面、労力面など生徒同士で相談して製品を作り上げました。そのため自分たちの製品が売れていく様子を嬉しそうに見ていました。作る喜びを多く感じていました。

(文責：馬場)



リサイクル班

「販売活動の喜び！楽しさを体感！」

昨年度の販売で御好評だった一筆箋やポチ袋、ランタンに加え、今年度の新製品のペン立て、コースター、バラの花飾り、カードケースなどをお客様にたくさん御購入いただき、次々と完売で大忙しでした。そのおかげで生徒は、自分達の作ったものを買っていただく喜びや、お客様とのやりとりを通して接客することの楽しさを感じることができました。ご協力ありがとうございました。

(文責：坂井)

